

事業計画策定段階

地区名 石狩湾周辺地区

| | | | | | | |
|-----------|------|--|--------|------------------------|----------|----------|
| 事業名 | | 水産環境整備事業 | | | | |
| 整備の趣旨 | | <p>○漁場整備</p> <p>当地区の漁獲量は回遊性資源が約3割を占めているが、回遊性資源の漁獲量は海洋環境の変化や資源量等によって大きく左右されることから、地区漁業生産の不安定要素となっている。</p> <p>一方、地区の主要な地先資源であるミズダコやソイ類等地先資源については安定又は増加しており、持続可能な漁業生産の確保のため、地区沖合に生息環境を整備することにより増殖が可能で、減少している回遊性資源と比較して安定しているミズダコやソイ類等を対象とした施設整備が必要とされている。</p> <p>また、当地区沿岸は藻場の繁茂する岩礁域が乏しく、さらに近年は海水温の上昇等、海洋環境の変化等に伴う磯焼けにより藻場が減少しているが、藻場は沿岸におけるハタハタ等魚類の産卵基質となる他、地区の主要な根付け資源の一つであるウニ類の餌場、ソイ類等幼稚魚期に藻場を生活の場とする魚類の育成場としても利用されており、海域における生産力を支えていることから、海域の生産力向上のため藻場の回復が必要とされている。</p> <p>このため、地区沖合にこれらの魚種を対象とした魚礁を整備し、資源の安定、増加を図る。</p> <p>また、当地区ではソイ類の幼稚魚育成場やハタハタの産卵基質となる沿岸域の藻場が不足していることから、マスタープラン及び藻場ビジョンに基づき、大型海藻が繁茂する水深に合わせた高さのある単体礁や囲い礁を造成、ウニ類の密度管理を行うなどして磯焼けの一因となるウニ類の食圧過剰を抑制し、持続的な藻場施設を造成することにより、資源の安定、増加を図る。</p> <p>以上の取組により、海域の生産力向上を図り、持続可能な漁業生産の確保を目指す。</p> | | | | |
| 事業内容 | 事業箇所 | 天塩町、遠別町、初山別村、羽幌町、苫前町、小平町、留萌市、増毛町、石狩市、小樽市、余市町、古平町、積丹町 | | | | |
| | 概要 | 漁港・漁場名 | 事業規模 | | 事業期間 | 事業費(百万円) |
| | | 留萌遠別沖合漁場 | 魚礁施設 | 35,000 空m ³ | R4 ~ 13 | 930 |
| | | 風連別地先 漁場 | 増殖施設 | 0.80 ha | R5 ~ 7 | 146 |
| | | 苫前 漁場 | 増殖施設 | 6.50 ha | R10 ~ 12 | 198 |
| | | 苫前地先 漁場 | 増殖施設 | 1.20 ha | R5 ~ 9 | 176 |
| | | 花岡地先 漁場 | 増殖施設 | 0.80 ha | R4 ~ 5 | 134 |
| | | 中歌 漁場 | 増殖施設 | 6.50 ha | R11 ~ 13 | 198 |
| | | 増毛地先 漁場 | 増殖施設 | 4.10 ha | R4 ~ 13 | 953 |
| | | 浜益愛冠 漁場 | 魚礁施設 | 49,000 空m ³ | R4 ~ 13 | 1,348 |
| | | 厚田 漁場 | 増殖施設 | 2.40 ha | R5 ~ 13 | 392 |
| | | 小樽塩谷 漁場 | 増殖施設 | 2.00 ha | R4 ~ 10 | 411 |
| | | 余別沖 漁場 | 魚礁施設 | 35,000 空m ³ | R9 ~ 13 | 850 |
| 神岬沖 漁場 | 魚礁施設 | 35,000 空m ³ | R4 ~ 8 | 850 | | |
| 全 体 合 計 | | | | | 6,586 | |
| 道民意見と対応状況 | | 特に意見はありませんでした。 | | | | |